

第2次あきる野市総合計画 令和6年度進捗管理シートに対する総合計画審議会委員からの意見等

R7.7.28時点

【2 各施策の内容】進捗管理シートについて

番号	委員	対象となる章・節	意見	類型	対応	【担当課】	各課回答	備考
1		1-1-1-②「圏央道インターチェンジ周辺地区の土地利用転換の推進」	秋川高校跡地について「有識者会議において取りまとめられた提言書をもとに～」とありますが、そこに市民の声は活かされないのでしょうか。先日HPで意見募集をされていたり、市民団体も関心を持ち活動していたりしているところです。先日市民団体主催で行われたフォーラムには都市政策課の課長さんも参加されたことは市民との協働という点で評価しています。まちづくりに関して、市民の意見を活かすということは多様な意見があるため非常に難しいことでもあるかと思いますが、スピード重視で行政主導で進めるのではなく、多少時間はかかっても市民と共に進めていくことで、市民もまちづくりに参画する経験となり長い目で見れば有意義ではないかと思います。とくに、秋川高校跡地は、メタセコイヤの並木は市民にとってもシンボルのな存在でもあるとともに、駅や商業施設も近く、生活と結び付けて考えやすい土地だと考えられます。近隣市などではまちづくりに関して市民団体と協働してワークショップ等を行う例もあるようです。双方向的なコミュニケーションも取り入れた行政と市民の協働のモデルケースとなればうれしく思います。	質問 意見	各課確認 事前回答	【都市政策課】	市民と協働のまちづくりについては、社会情勢からみても制度設計は必要と考えており、他市の先行事例を参考に、今後、制度等を検討していきたいと考えております。	
2		1-1-3-④「既存ストックとしての空き家の活用」	市内の空き家が目立つ状況が長く続いており、空き家バンクが未だに実施されていないのは、遅すぎると共に勿体無いと思います。都心の新築マンションが高騰する中、割安で住宅を手に入れられるあきる野市は魅力があるため、早急に空き家バンクを実施することが望まれます。	要望	各課確認 意見記載 そのまま	【住宅政策課】	市は令和５年度に空家対策計画の基礎資料とするため、建物の外観目視による調査や所有者等へのアンケート調査を行い、令和7年６月に計画改定を行いました。今後、既存ストックとしての空き家の活用について、調査結果等で得られた情報を元に所有者等の承諾が得られた空き家に対して、所有者等の意向に沿った対応を考えております。また、空き家バンクの設置については、本市の現状や課題、空き家の流通促進の実効性を踏まえながら調査、研究を進めてまいります。	⇒シート２に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。
3		1-2-1-①「緑確保の推進」	緑豊かな環境と保全に惹かれて移住してきました。元々生産緑地である土地を購入し緑を守るために整備してきましたが、生産緑地としての基準や行政、農業委員会からの情報対応が明確でなく、やや硬直的に感じられ残念な対応です。貴重な緑を守るためにも生産緑地の確保も重要な課題であり、市民の声や申請意図を丁寧に汲み取り、柔軟に対応できる体制への改善が望まれます。	質問 意見	各課確認 事前回答	【都市政策課】  【農林課】	【都市政策課】 「緑確保の総合的な方針」の中で生産緑地を保全すべき農地として位置付けており、農業従事者の方に可能な限り寄り添い、生産緑地の指定をしていきたいと考えております。  【農林課】 生産緑地として指定できる土地は農業の用に供される土地のみとなっております。これは、植物の植栽ではなく、実際に耕作や飼育等による生産活動を意味します。そのため、生産活動とは関係のない、植栽が植えられている場合、土地の管理をしていたとしても農地としての基準を満たしているとは言えません。緑を守るという点については自然環境、景観保全の意味からも大切ではありますが、生産緑地という観点からはあくまでも農作物生産を行う農地として管理されているということが重要と考えております。	
4		1-1-3-③「空き家の適正管理」	空き家問題は地域の方々からよく聞かれます。有効活用する前の段階としての空き家にならない様な施策や、早い内から家主に対してのアクションをしていくことが大切だと感じます。	質問 意見	各課確認 事前回答	【住宅政策課】	あきる野市空家等対策計画において、本市が特に重視する取組として「人が住んでいる住宅の空き家の発生予防と住宅の適正管理」を掲げています。これまで、ガイドブックの配布やホームページ、セミナー開催等による周知・啓発活動、福祉部門と連携した高齢世帯への情報提供、東京都の空き家ワンストップ相談窓口への案内等による空き家の発生予防に取り組んでいます。今後、住宅の適切な維持管理による長寿命化促進に関する普及啓発等により、更なる空き家の発生抑制に取り組んでまいります。	
5		2-2「活力ある商工業の振興」	最近、新しい「あきる野の匠」が認定され、直後にTV出演もされていましたが、どこかに取り組みを明記しなくてよいのか。	質問 意見	各課確認 事前回答	【商工振興課】 【観光まちづくり推進課】	後期基本計画の見直し作業の中で修正を検討します。	（事務局）同項目については、商工振興課を所管課として進捗管理シートを取りまとめていますが、委員ご指摘のとおり、「あきる野の匠」事業（所管課：観光まちづくり推進課）は商工業の振興にも関わりますので、所管課を追加し、記載内容を後期基本計画より修正いたします。
6		2-2-2-②「空き店舗の活用の促進」	街頭商店街（五日市）のメインストリートには長くシャッターが閉じたままの店舗が目立ち、街の印象にも影響しています。一方でイベント時には多くの人が集まり、出店にもぎわうことから、活性化の可能性を感じます。空き店舗活用の促進には、地域の土地所有者との連携や移住希望者とのマッチングを含む将来を見据えた街づくりのビジョンが必要です。地域の魅力を活かす柔軟な仕組み作りを期待します。	要望	各課確認 意見記載 そのまま	【商工振興課】	五日市活性化戦略委員会では、五日市地区及び増戸地区において「空き店舗空き家まち歩きツアー」を実施しています。事業内容は、地域内の空き店舗を調査し、賃貸可能な空き店舗を掘り起すとともに、まち歩きをしながら空き店舗等の見学を行い、五日市や増戸のまちや暮らしの魅力をPRすることで、開業・移住希望者へのサポートを実施しています。なお、令和６年度は１１月１６日（土）に実施し、参加者が１８人でした。	⇒シート２に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。

7		2-3「あるきたくなる街あきる野を指した観光業の振興」	「観光ボランティアガイド」の取り組みは明記しなくてよいのか。	質問 意見	各課確認 事前回答	【観光まちづくり推進課】	進捗管理シート【2_施策の内容】2-3-3-②「観光ルートの整備の推進」の項目に観光ボランティアガイドに関する取組を追記いたします。	⇒進捗管理シート修正
8		2-4-2-③「農作物のブランド化の推進」 2-4-3-②「遊休農地の利用集積等による農業生産の拡大と農地の有効活用の促進」	あきる野の農業では後手に回っている特別栽培や有機栽培、自然栽培の分野を強化する事が望ましい。土壌環境や水質への負荷を低減する思想を農家の人たちにも取り入れてもらい、サステナブルな農業を推進することで、あきる野の農業全体のブランド化につながると考えます。	要望	各課確認 意見記載 そのまま	【農林課】	有機栽培・自然栽培については、環境負荷低減に資する重要な取組であり、農業振興の一翼を担うものとして考えております。しかしながら、有機農業はコストや市場の需要と供給のバランスなどの多くの課題が存在し、産業としての発展には時間と努力が必要です。有機栽培などの推進については農産物の付加価値を高めることにつながる可能性があります。収益向上には長期的な視野が求められることから、慎重に施策の検討を進めてまいります。	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。
9		2-4-4-①「農業振興策の研究・検討」	農業従事者の高齢化が深刻です。一方で、現役世代にとって専業農家となることは収入面で不安が大きいと考えます。しかし農に関心のある人は少なくないと思われるため半農半X的な農へのアプローチが可能となるような政策を検討してはいかがか。耕作放棄地解消と移住促進を同時に推進できる政策になり、魅力的だと思う。	要望	各課確認 意見記載 そのまま	【農林課】	当市では専業農家を対象にした支援を中心に施策を展開しており、兼業農家への直接的な支援は十分とは言えない状況です。農業に関心のある方々へ幅広くアプローチすることで、農業の活性化において重要な役割を担うことができると考えられます。財政面の問題もあることから、関係機関と連携しながら、施策の検討を進めてまいります。	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。
10		3-1-1「地域コミュニティの活性化」	現状として「町内会・自治会は本市において・・・生活に密着したコミュニティとして・・・果たす役割がより大きくなることが予想されます」（「第2次あきる野市総合計画」P108）とありますが、実態として町内会・自治会の加入率は年々減少する傾向にあります。現在のカタチの町内会・自治会への加入促進や活性化を支援するだけでなく、新しいニーズ等も取り入れた新しいカタチの町内会・自治会も模索していく必要があるのではないのでしょうか。例えば学校（コミュニティスクール）を中心としたコミュニティ、子ども食堂や高齢者・子育て中など世代を軸としたコミュニティなど、「地域のコミュニティ＝町内会・自治会」とは必ずしもならないようになってきていると思います。また、コミュニティの創出には子ども食堂などの例もあるように、「集う場」づくりも大切だと思われます。例えば、自治会館に集まる機会を定期的につくるなどもきっかけづくりによいのではないのでしょうか。	要望	各課確認 意見記載 そのまま	【地域防災課】	各町内会・自治会でも加入率の減少を大きな課題として捉え、会長や役員の負担を減らすための工夫や組をまとめて組長数を減らすなど、時代や地域の状況に合わせて新しい形の町内会・自治会を模索しています。町内会・自治会にとって、子ども会や高齢者クラブなどは重要な協力団体であり、例えば地域の子ども会と共同で事業を実施し、子育て中の若い世代が町内会・自治会の活動に触れる機会を設けている団体もあります。また、町内会・自治会に未加入の方も参加しやすいよう工夫しながら、既存の活動にない新たな事業を実施し、町内会・自治会の魅力を発信したり、加入勧奨している団体もあります。このように各町内会・自治会では時代や地域の実情に合わせて工夫をしながら活動しており、市では、そのような事業に対して補助金を交付し、町内会・自治会活動を支援しています。なお、町内会館・自治会館に定期的に集まる機会を作るように指導することなどについては、町内会・自治会は、地域の自立した民主的、主体的な組織であることから、その関係性になじまないと認識しています。	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。
11		3-1-1-①「町内会・自治会への加入の促進」	何故、自治会というコミュニティが必要で、誰のためにあるのかを再定義する必要があるかと思います。入っている方も、これから入ってもらう人にも、そこを理解してもらえるようにすることが大切だと思います。	質問 意見	各課確認 事前回答	【地域防災課】	町内会・自治会の活動は、地域住民が互いに支え合い、温かい人間関係が生まれ、住みよい地域づくりにつながるものですが、近年の生活観の多様化や住民同士の関係性の希薄化により、日常生活でのコミュニティの必要性が下がっています。しかし、災害時などには、敏速な救助活動や住民同士の助け合いが非常に重要です。そのためには、日頃からの地域住民同士の付き合いが直接結びつくため、町内会・自治会というコミュニティは必要だと考えています。 このような町内会・自治会の必要性について、あきる野市町内会・自治会連合会が作成した、町内会・自治会に関する説明等を記載した「あきる野市町内会・自治会連合会 あ・れ・こ・れ」を配布することで、加入者、未加入者に関わらず周知しています。	⇒シート2に記載して、審議会当日要望として紹介いたします。
12		3-3「清潔で快適な循環型社会システムの構築」	食品ロス削減の推進に関しては学校への出前授業が実施されているようですが、ゴミの減量やリサイクル等についての普及啓発も学校と連携して行ってはいかがでしょうか。早いうちから習慣化していくこと、子どもを通じて親へも啓発していくことが見込めます。	質問 意見	各課確認 事前回答	【生活環境課】	令和6年度については、学校給食センターと合同で出前授業を実施したため、ごみ問題の中でも特に「食品ロス」削減に関する内容での実施となりました。 令和7年度については、生活環境課単独での出前授業を実施しており、内容としては「塵芥車の見学と収集員への質問・分別の徹底・生ごみの堆肥化」などとなっています。今年度は特に「リチウムイオン電池がごみに混入することによる発火事故増加について」の啓発に力を入れています。 今後も、出前授業を実施し、食品ロスの削減に努めてまいります。	
13		3-3-1-②「ごみの減量化の推進」	ごみを出さないことが最も効果的です。生鮮食材の食品トレー削減として、市内のスーパーでの量り売り場でのマイ容器持参の取組をしてはどうか。また、スーパーで会計後にトレーからポリ袋に入れ替えその場でトレーを見捨てて人を見かけます。それなら始めからポリ袋で販売するように、各スーパーに協力を要請するなど、食品トレーの削減を推進してほしい。	質問 意見	各課確認 事前回答	【生活環境課】	スーパーでのマイ容器対応やポリ袋等での販売については、食品衛生法や店舗側の食中毒リスクへの対応等の課題があると考えます。 また、ポリ袋はリサイクルが困難で、白色トレーはリサイクルが容易である点についても、着目する必要があります。 食品トレーに関しては、市では白色のみではありますが資源として回収を実施しており、一部店舗では、白色トレー以外も回収し、リサイクルしています。 スーパー等の店舗と協力し、トレーを「ごみ」ではなく、「資源」として排出するように呼びかけるなどの周知は、店舗との調整により可能だと考えますので、協力店を募集するなど対応を検討してまいります。	

14		4-2-3-③「地域における子ども・子育て支援の推進」	地域子ども育成リーダーに関しては、数を増やすだけでなく、個々のリーダーの素養を高めたり、力を合わせることで可能になることもあったりするので、リーダー同士のつながりづくりなどの取り組みも進めていただければと思います。	質問 意見	各課確認 事前回答	【こども政策課】	地域子ども育成リーダー同士の繋がりにつきましては、年2回程度実施しております地域子ども育成リーダーのフォローアップ研修会において、地域子ども育成リーダーの活動内容について報告する機会を設けております。引き続き研修会を実施し、地域子どもリーダー同士の交流の場としてまいります。	
15		4-2-3-③「地域における子ども・子育て支援の推進」	家庭教育学級の参加者数の伸び悩みに関してですが、例えば公民館ではなく「こころの」などのあるルピアで開催したり、ファミサポ等との連携も行ったりしてはいかがでしょうか。	質問 意見	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	男女共同参画啓発事業として位置づけられた「女と男のライフフォーラムinあきる野」については、引き続きより多くの方の意識の醸成が図れるよう、会場の変更も検討した上で実施してまいります。	
16		5-1-2-①「男女共同参画の推進」	男女共同参画社会への満足度がCランクにとどまっているのは、市民の諦めや参画しにくさの現れと感じます。上位職が高齢男性に偏る構造が根強く、若者や女性の声が届きにくいのが現状です。啓発だけでなく、審議会等の構成の見直しや、小さな声を拾える仕組みづくりが必要です。参画への空気を市が意識的に育てていくことを望みます。	質問 意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】 【生涯学習推進課】	<p>【企画政策課】</p> <p>「「男女共同参画社会」に対する満足度」は、市が隔年で実施している市民アンケート調査の「男女共同参画社会の実現」に関する施策（男女共同参画社会の実現に向けた情報提供や意識啓発、フォーラムの開催）の満足度（「満足」「やや満足」の回答の計）を参照しております。同アンケート調査では、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」「わからない」の選択肢から近いものを選び回答することとしており、「普通」と「わからない」の回答が、約8割を占めております。こうした状況を踏まえ、市としましては、男女共同参画の情報提供や意識啓発に取り組むことにより、「普通」又は「わからない」の状態から、「満足」又は「やや満足」の状態に移行していただけることを想定し、目標値を設定しております。</p> <p>アンケート調査の結果を踏まえ、市では、令和6年度から、男女共同参画週間に合わせた啓発コーナーを設置し、男女共同参画に関する資料の展示などの取組を開始しております。また、先進自治体へのヒアリングを通じて、より効果的な取組の研究・検討を行っているところでありますので、その成果から、より市民の皆様へ届くような取組を実施し、満足度の向上に努めていきます。</p> <p>審議会等への女性の参画につきましても、「第5次あきる野男女共同参画プラン」に基づき、審議会等の委員に占める女性委員の比率が40％以上（令和6年度の実績値：33.1％）となるよう、委員の選出等に当たり、女性の参画を積極的に推進しているところであります。</p> <p>市としましては、これらの取組を継続し、多様な意見を市政に反映できるよう努めていきます。</p> <p>【生涯学習推進課】</p> <p>子育て中の保護者等へ情報が届くように、テーマに応じて保育園やこころの、こども家庭センター等の子育て関係部署と連携を図りながらポスターの掲示やチラシの配布を行い、募集しています。今後も関係部署との情報交換を行い、更なる連携を検討していきたいと考えています。</p>	
17		5-5-1-②「社会教育事業の充実」	社会教育事業の充実においては、市民の要求課題だけでなく必要課題（社会的な課題）を扱うことも必要です。地域づくりを担う市民を育てていかなければ、行政と市民との協働もなかなかうまくいかないことでしょう。そういった広い視野にたった教育事業の推進のためには「社会教育主事」のような専門的である程度しっかりと課題に向き合えるような人材も必要だと思います。	質問 意見	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	<p>【生涯学習推進課】</p> <p>生涯学習推進課では、社会教育指導主事を配置するとともに、社会教育主事の資格を有した職員が中心となり、職員全体で協力しながら社会教育・生涯学習事業に関する業務を行っています。</p>	
18		5-5-2-①「芸術文化事業の充実」	市民文化祭をどうしたらさらに盛り上げていけるかという視点から、新たな視点での連携の推進が求められているのではないかと思います。	質問 意見	各課確認 事前回答	【生涯学習推進課】	市民文化祭は市民の日頃の学習成果の発表の場であることから、市民文化祭をさらに盛り上げていくためには、多くの団体の参加を得る必要があります。市民団体・グループが減少傾向にある現状においては、まずは団体・グループの維持・増加を図ることが最優先であると捉えており、日頃からの市民の学習・文化活動など、社会教育活動を活性化していくことが必要であると考えています。今後の市民文化祭の開催に際しては、より多くの市民団体が参加できるようにさらなる周知の強化を図るとともに、運営委員と協働で新たな取組について検討していきたいと考えています。	
19		6-4-2-③「広聴の充実」	市長タウンミーティングに参加し、興味深い内容でしたが、出席者の多くが自治会関係者や 高齢男性で移住・新参者としては発言じづらい雰囲気がありました。まちづくり参画の意向が20％台にとどまっている要因の一つかもしれません。市民の多様な声を引き出すには呼びかけや会の運営にもう一工夫が必要です。若い世代や移住者も参加し発言しやすい形式の検討を望みます。	質問 意見	各課確認 事前回答	【企画政策課】	<p>令和5年度から開始したタウンミーティングにつきましては、市長が目指す市の将来像等について、市長自らの言葉で市民に伝え、市民とともに語り合う場と位置付けており、子育て世代や移住者向けの回を設定する、発言を促す、飲み物を用意するなど、市としましても、参加者の皆さんが発言しやすいよう、工夫をしているところであり、タウンミーティングに伴うアンケート調査においても、「満足できた」「まあまあ満足できた」の回答の計が約6割となっております。</p> <p>一方、アンケート調査の自由記述欄では、発言しづらかったなどの意見も寄せられ、その対応策として、参加者からの事前の意見集約などのご提案などもいただいております。今回いただいたご意見も参考とさせていただきます、より実りのあるタウンミーティングの開催方法を研究していきます。</p> <p>また、広聴という施策でみますと、市に意見を伝える方策として、市長への手紙、パブリックコメント、市民アンケート調査などの取組を行っておりますので、これらの取組の更なる周知に努めていきます。</p>	



その他								
番号	委員	対象となる章・節	意見	類型	対応	【担当課】	各課回答	備考
1		1-1-3-④「既存ストックとしての空き家の活用」	空き家は全国的にも課題となっていますが、持続的な社会づくりや地域福祉の観点からも活用していくことが望まれます。ぜひ前向きに取り組んでいただければと思います。	その他	情報共有	【住宅政策課】		
2		1-2-2「公園・緑地の整備保全・創出」	市内にはいくつも公園がありますが、必ずしもニーズとマッチしていない現状があるようです。「兄弟で遊べるような遊具がない」「ある程度の時間過ごせる遊具が欲しい」などの声を聴きます。樹木の管理等で行政も手が回らない面もあるかと思いますが、ぜひ市民の憩いの場として、より多くの人に利用してもらうことで、地域コミュニティ的な役割や防災などに活用できるとよいのではないかと思います。	その他	情報共有	【都市政策課】 【環境政策課】		
3		2-4「消費志向に合わせた都市型農業の推進」	山や河川、田畑の広がる景色あるあきる野において、農業を中心とした地域産業の振興は、地域特性を生かしたコミュニティ形成や、循環型社会の構築、食の安全等々多くの意味合いを持つと思われます。しかしながら、現代社会においては産業として成り立ちにくいなどの点から担い手不足が課題です。「あきる農を知り隊」なる取り組みは大変恥ずかしながら今まで知らなかったのですが、周知・啓発はより力をいれていく必要があるでしょう。また、農林業には地域性を生かした伝統的・文化的な要素も含まれているように思われるのですが、「伝統を守る」という文脈ではあまり語られません。一方では立派な施設を作り、職員も配置して伝統産業として今はもう廃れてしまった技術を形ばかり継承している。だったらまだまだ現役で、地域の基盤にもなりうる農林業をもう少し手をかけて守ってもいいのではないかと思います。農業と地域づくりはつながっているように思います。	その他	情報共有	【農林課】		
4		4-2「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」	何人かから聞いただけではあるのですが、市内の学童クラブに関して、学校よりも管理的だという評判を耳にしました。全ての学童クラブがそうではないとしても、場の問題なのか、人の問題なのかはわかりませんが、子どもの健全な育成において、放課後活動は学校とは違い個に応じた自由でのびのびとした雰囲気であることが望ましくはないでしょうか。	その他	情報共有	【こども政策課】		
5		4-5「地域福祉の推進」	お互いに支え合い、助け合う地域づくりにおいて、民生委員やふれあい福祉委員との情報交換などは有益であろうが、より多くの市民を巻き込んでいくことが必要かと思います。たとえ役職等はなくとも、社協などと関わりながら地域で福祉に携わっている人はたくさんおります。そういった人たちとも情報共有などを行っていくことが支え合う地域づくりに必要ではないでしょうか。企画政策課が、あきる野市日本語サークルと連携して外国人のヒアリングを行ったように、従来の垣根を超えた連携の体制を整えていくことが今後必要だと思います。市民を巻き込み協働していくことで、市民も力をつけ、市民と行政とがお互いに高め合いながらパートナーとして地域をよりよくしていくことができるとよいと思います。	その他	情報共有	【生活福祉課】 【障がい者支援課】 【高齢者支援課】 【こども家庭センター】 【福祉総務課】		(事務局) 協働のあり方ということで、企画政策課の今後の課題とさせていただきます。
6		5-1-1-①「人権教育の推進」	人権尊重教育とは、何を教えるかよりも「人権を尊重する姿勢」こそ重要ではないかと思います。現在の学校は不登校の児童が増加傾向にありますが、果たして子どもの人権は尊重されているのでしょうか。「子どもの人権を尊重していたら教育なんてできない。つらいことでも頑張ることで伸びる」と言う人もいるかもしれませんが、伸びようとする思いがあればこそ困難にも立ち向かっていけるものです。不登校対策として市内の各校に学校内の新たな居場所としてカラフルルームが整備されたとのことですが、聞くところによると全ての学校ではないにしても学校によっては、やはり子ども自身が拒否感を示すような対応がされたしまったようです。糾弾したいわけではありません。大切なのはそのことを共有するところから、良い方向へ変わっていく必要があるのではないかということです。私が聞いた話も事実と異なるかもしれませんが、ですが、場をつくったからすぐにうまくいくわけではない。人権尊重を教えたから、子どもが人権を尊重するようになるわけではないのです。お互いに尊重をしながら、少しずつ身に着けていくものだと思います。	その他	情報共有	【指導室】		

7		5-1-1-①「人権教育の推進」	人権尊重の文脈だけでなく主権者教育という側面もありますが、「子どもの権利条約」や「こども基本法」にうたわれるように、子どもの意見表明権を尊重し、子どもが意見を表明できる機会を設けることも重要であると考えます。令和８年度施行に向けて「あきる野市こども計画」も策定中ですが、新たな項目として明記していただければ幸いです。	その他	情報共有	【こども政策課】		
8		5-1-2-①「男女共同参画の推進」	「男女共同参画の推進」も同じく時間がかかる取り組みだと思います。啓発コーナーの設置など新たな取り組み等もされている中で、思うような結果が出ていない現状であるかもしれませんが、日本社会において相当に根深く範囲の広い課題であり変化には時間がかかるものと思います。試行錯誤しつつ根気強く取り組んでいただければと思います。	その他	情報共有	【企画政策課】 【生涯学習推進課】		
9		5-2「生涯学習社会の振興」 5-3「青少年の健全育成の推進」	<p>生涯学習の機会の創出はもちろんですが、生涯学習は、社会教育はもちろん、学校教育・家庭医教育全ての教育の基礎となりうる概念であり、そのことを周知していく必要があらうかと思われます。人間は生きている限り学び続ける存在です。学校教育においても、「生涯に渡って学ぶ人づくり」を目指すとするれば、子どもたちに過度な負担を強いる必要はないと気づくはずです。さらに、不登校だからといって学校以外で学べないわけではないということにもつながります。不登校対策は学校教育だけが担うのではなく、学校外との連携が不可欠だと考えます。また、地域課題の解決にとっても、学ぶことは欠かせません。とはいえ、現在の地域の置かれた状況を考えると、地域と学校との連携は必要不可欠であり、そのことは地域学校協働事業につながります。</p> <p>「5-3-2-②学校・家庭・地域の連携及び協働による教育環境の充実」の呼応においては、令和６年度の取り組みにおける課題認識において生涯学習推進課と指導室とのズレがあるように思います。今後いっそうの連携を進めていく必要があると思います。</p> <p>生涯学習社会の振興に際しては、学習情報の収集発信が欠かせません。あきる野市は近隣市に比べると、社会教育情報の発信がやや弱い印象を受けます。教育広報やその他のツールを使い、より多くの人々が学習情報に触れ、学び、その成果を発揮できる環境づくりが求められます。</p>	その他	情報共有	【生涯学習推進課】 【こども政策課】 【指導室】 【図書館】		
10		6-4-1-①「協働のまちづくりの推進」	昨年度行われたタウンミーティングはとても有意義なものになったのではないかと思います。近隣市では、ワークショップ型のまちづくりへの市民参画の機会もあるようです。いろいろな形で双方向のコミュニケーションを通じ、市民がまちづくりに参画し、市民と行政とがお互いに高め合い、よりよいまちづくりの推進ができるようになると思います。	その他	情報共有	【企画政策課】		